

箱根山の監視体制の更なる強化について

箱根山では、大涌谷でごく小規模な噴火が発生し、6月30日に噴火警戒レベルを2から3に引き上げた後も、大涌谷の火口から噴気が勢いよく噴出する状況が続いているなど、火山活動は引き続き活発な状況にあります。

そのため、レベル3の警戒が必要な範囲（大涌谷周辺の概ね1km）をより重点的に監視し、今後の火山活動の推移をよりの確に評価するため、以下の通り観測機器の一層の充実・強化を図ります。

噴火に先行して発生する可能性のある低周波地震や傾斜変動等を精度よく捉えるため、大涌谷の火口近くに広帯域地震計を設置

噴火の有無及びその規模をより正確に把握するため、既存の2台の空振計の間（箱根ロープウェイ早雲山駅付近）に、空振計を設置

噴気の活発な火口の観測に加え、大涌谷全体を観測できる遠望カメラを小塚山付近に設置

[運用開始時期]

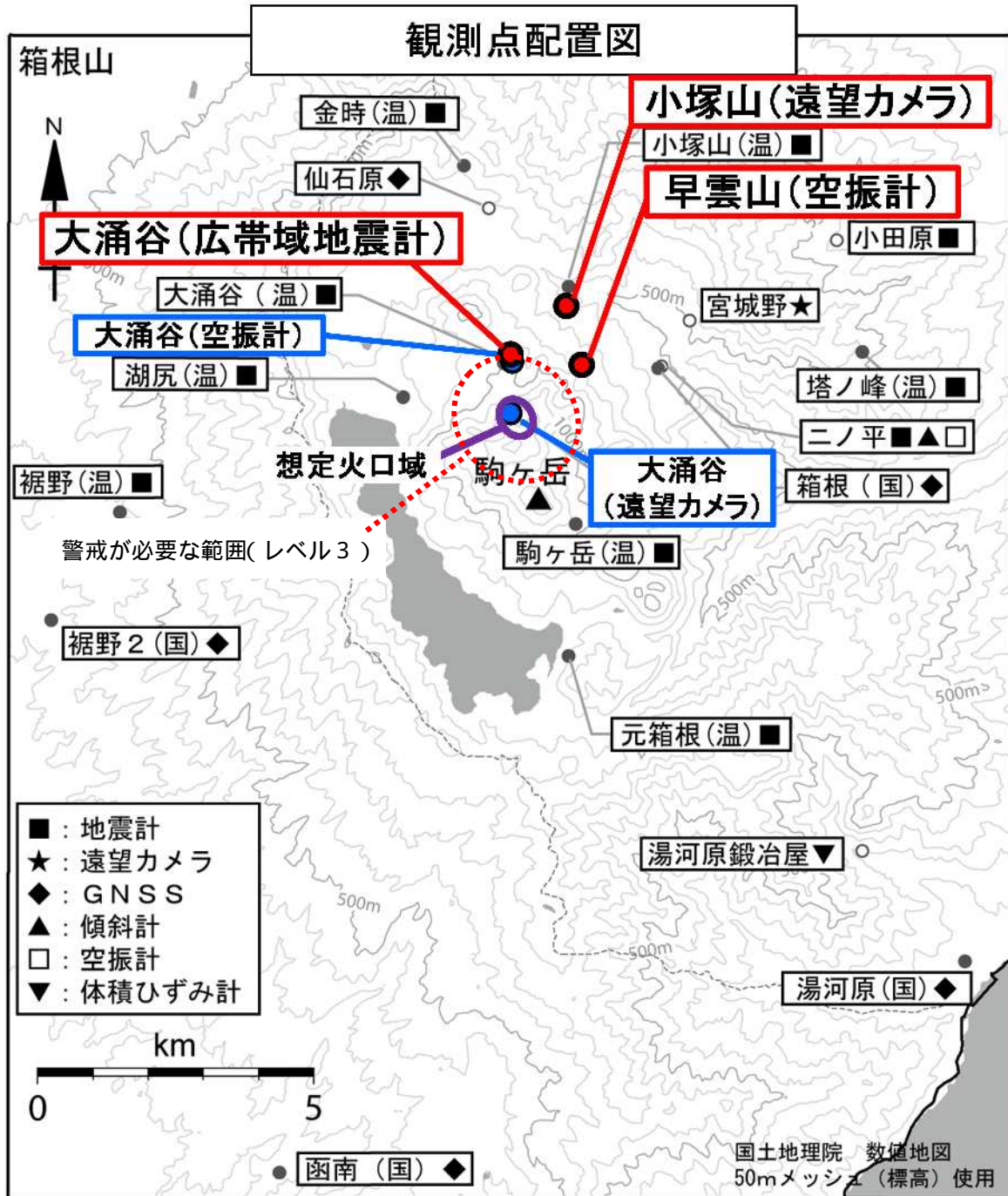
空振計は8月中を目途に、その他についても可能な限り早期に設置し、運用を開始します。

問い合わせ先

気象庁地震火山部火山課火山活動評価解析官

電話 03-3212-8341（内線4538）

(参考)



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国) : 国土地理院、(温) : 神奈川県温泉地学研究所

赤枠が今回の増設
青枠はレベル2引き上げ後の増設